

まちラボプロジェクト演習

～島田・小西プロジェクト～

目次

プロジェクト
内容

プロジェクト
の
変更点

ミニコモゴモ
展
について

各チーム
の
役割

ワークショップ
内容

まとめ

Labo

Labo

【プロジェクト内容】

プロジェクト内容

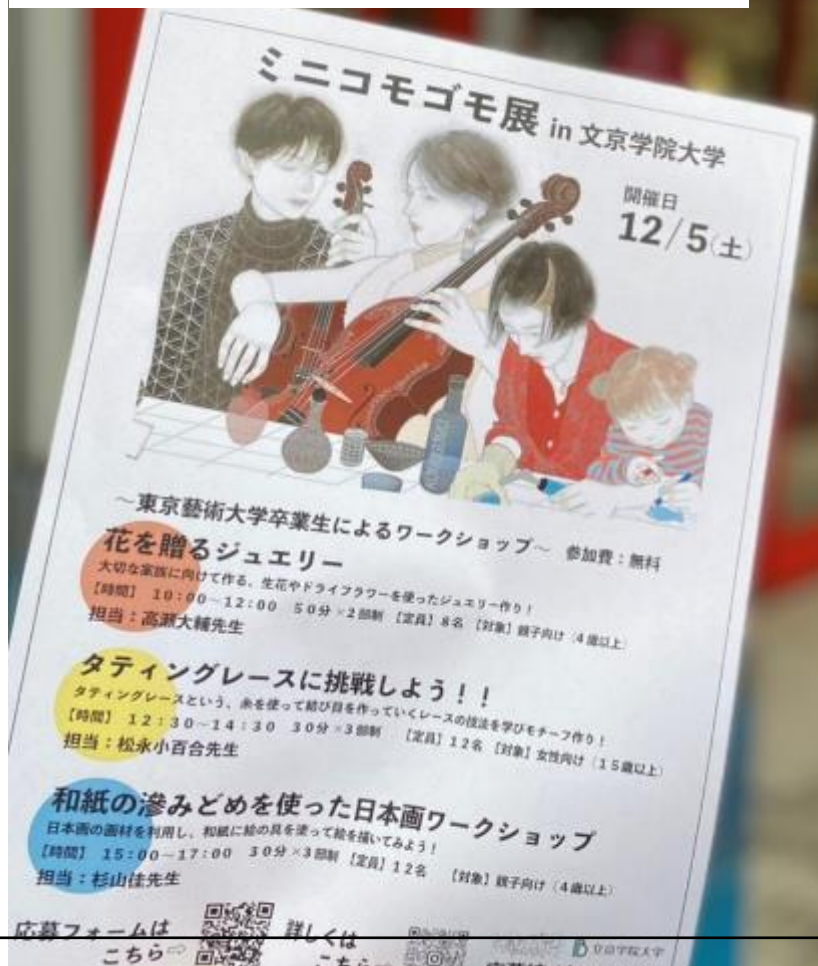
- 東京藝術大学後援アートマーケット KOMOGOMO展活動委員会
やアーティストの方々とコラボ

KOMOGOMO展とは

- 東京藝術大学出身のアーティスト
が主催するアートイベント
- 東京都上野恩賜公園で芸術の作
品の展覧会・コンサート・ワーク
ショップを定期的に行なう



プロジェクトの変更点



【変更点】

- 本来、KOMOGOMO展をサポートする活動予定だった
- KOMOGOMO展がコロナで規模縮小や中止
- 予約制で限定された人数に対してワークショップイベントを学内で実施
⇒**ミニコモゴモ展**

ミニコモゴモ展

について



【イベント概要】

- 東京藝術大学出身アーティスト3名によるワークショップイベント
- 学生が企画・運営
- 12月5日（土）
まちラボ教室にて実施した



各チームの役割

【役割分担】

松永班：運営

高瀬班：ポスター作成・SNS管理

杉山班：営業・窓口



松永班：運営

【事前準備】

- KOMOGOMO展主催者との連携
- 企画書の作成
- 当日のスケジュール、シフト作成
- 会場のレイアウト
- 必要な物の買い出し
- 経費の管理
- ごみ処理の確認
- 備品管理
- コロナウイルス対策



全体スケジュール

実施年

活動内容

2020年9月24日

ミニコモゴモ展開催決定

10月

企画書作成
SNS運用開始

11月

ポスター作り
応募フォーム作成
チラシ配布
応募開始（11月6日）
応募締め切り（11月20日）

12月3日

買い出し
ミニコモゴモ展準備

12月5日

ミニコモゴモ展開催



【コロナ禍での工夫】

- イベント会場で密にならないようにシフトを組んだりレイアウトを考えたこと
- 参加者の2週間前からの検温や定期的な消毒、アクリル板準備などでの対策の徹底

【全体の運営をした上での成果】

- コモゴモ展主催者の方の話を参考にすることで、約2ヶ月という短い準備期間内でも無事実施することができた



成果と反省点

成果と反省点



【全体の運営をした上での反省点】

- 準備期間が2か月間と短かった
- アーティストさんとの打ち合わせ不足

【SNSでのPR】

高瀬班の役割



- 各班で月、水、金曜日にSNSにてミニコモゴモ展の宣伝をした (Twitter、Instagram)
- SNSがきっかけで来てくれた参加者がいた (アンケートから)



【ポスターデザイン】

- ・期間1週間で作成
- ・わかりやすく見やすいデザイン
- ・応募フォーム、SNSのQRコード

ミニコモゴモ展 in 文京学院大学

開催日 **12/5(土)**



～東京藝術大学卒業生によるワークショップ～ 参加費：無料

花を贈るジュエリー
大切な家族に向けて作る、生花やドライフラワーを使ったジュエリー作り！
【時間】 10:00～12:00 50分×2部制 【定員】 8名 【対象】 親子向け（4歳以上）
担当：高瀬大輔先生

タティングレースに挑戦しよう！！
タティングレースという、糸を使って結び目を作っていくレースの技法を学びモチーフ作り！
【時間】 12:30～14:30 30分×3部制 【定員】 12名 【対象】 女性向け（15歳以上）
担当：松永小百合先生

和紙のしみどめを使った日本画ワークショップ
日本画の画材を利用し、和紙に絵の具を塗って絵を描いてみよう！
【時間】 15:00～17:00 30分×3部制 【定員】 12名 【対象】 親子向け（4歳以上）
担当：杉山佳先生

応募フォームは  こちら⇒

詳しくは  こちら⇒

まろろが B 文京学院大学
応募締め切り 11/20
※定員に達し次第締め切らせて頂きます

【アンケート用紙作成】

ミニコモゴモ展に関するアンケート

本日はミニコモゴモ展に参加いただきありがとうございました。
今後ミニコモゴモ展をより一層有意義なものにするべく、
参加者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。
お手数ではございますがご協力をお願いいたします。

参加者様の年齢（ 歳） 性別（ 男 ・ 女 ）

Q1. 本日参加したワークショップはどちらですか？

- ・花を贈るジュエリー
- ・タティングレースに挑戦しよう！
- ・和紙の滲みどめを使った日本画ワークショップ

Q2. ミニコモゴモ展をどこで知りましたか？

- ・Twitter
- ・Instagram
- ・ちらし（店名： ）
- ・その他（ ）

Q3. 今回ワークショップに参加した理由を教えてください。

- ・ワークショップの内容に興味があった
- ・学生主体のイベントに興味があった
- ・参加アーティストのファン
- ・藝大出身のアーティストに興味があった
- ・その他（ ）

Q4. 第二回があったら参加したいと思いますか？

またどんなワークショップに参加したいですか？（例：デッサン など）

- ・はい
 - ・いいえ
- （ ）

Q5. コモゴモ展に行ったことはありますか？

- ・行ったことがある
- ・行ったことはないが名前は知っていた
- ・知らなかった

Q6. コモゴモ展に行ってみたいと思いませんか？

- ・はい
- ・いいえ

Q7. ミニコモゴモ展のよかった点がありましたか？

（例：内容が分かりやすかった 学生の対応がよかった など）

（ ）

Q8. また、改善してほしい点がありましたか？（例：時間が長い、短い など）

- ・はい
- ・いいえ

（理由： ）

Q9. 新型コロナ対策は徹底されていると思いませんか？

- ・はい
- ・いいえ

（理由： ）

○最後に感想をお聞かせください

次回イベントが開催される際に案内のメールを送っても良いという方は
お名前とメールアドレスの記入をお願いいたします。

名前：

メールアドレス：

ご協力ありがとうございました。

【アンケート用紙作成】

ミニコモゴモ展に関するアンケート

本日はミニコモゴモ展に参加いただきありがとうございました。
今後ミニコモゴモ展をより一層有意義なものにするべく、
参加者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。
お手数ではございますがご協力をお願いいたします。

参加者様の年齢（ 歳） 性別（ 男 ・ 女 ）

Q1. 本日参加したワークショップはどちらですか？
・花を踏むジュエリー ・タティングレースに挑戦しよう！
・和紙の滲みどめを使った日本画ワークショップ

Q2. ミニコモゴモ展をどこで知りましたか？
・Twitter ・Instagram ・ちらし（店名： ）
・その他（ ）

Q3. 今回ワークショップに参加した理由を教えてください
・ワークショップの内容に興味があった ・学生主体のイベントに興味があった
・参加アーティストのファン ・藝大出身のアーティストに興味があった
・その他（ ）

Q4. 第二回があったら参加したいと思いますか？
またどんなワークショップに参加したいですか？（例：デッサン など）
・はい ・いいえ
（ ）

Q5. コモゴモ展に行ったことはありますか？
・行ったことがある ・行ったことはないが名前は知っていた
・知らなかった

Q6. コモゴモ展に行ってみたいと思いましたか？
・はい ・いいえ

た など）
短い など）
いう方は

- どこでワークショップを知ったか
- KOMOGOMO展を知っていたか
また、興味を持ったか
- 改善してほしい点があるか
- コロナ対策は万全だったか



成果と反省点

【成果】

- 1 か月でSNSで
合計フォロワー324人
- アートの魅力や
自分たちの活動を共有できた

【反省点】

- SNSのフォロワー数を増やしてもっと認知してもらおう
- KOMOGOMO展の課題である「アートに触れたことがない層である若者にアートの魅力を伝える」に関してSNSでは伝えられなかった



成果と反省点

杉山班の活動



【営業での活動】

- 応募フォームの作成、チラシに記載
- 向丘、白山（40店舗）にチラシ配り
- 中高等学校（文京）、絵画教室（文京幼稚園）にも

【チラシ配り】

- ・参加者の過半数が
チラシを見て来たと回答



杉山班の活動



【窓口での活動】

- ・参加者への案内メール
- ・お問い合わせ窓口
- ・応募フォームの作成
- ・受付メールアドレスの作成

【応募フォーム】

- QRコードを作成し、SNS、チラシに記載



【成果】

- チラシの宣伝効果が大きかった
- コロナの状況もふまえて参加者とこまめに連絡を取ることができた。




成果と反省点

【反省点】

- ・チラシ配りで向かう場所を事前にピックアップすべきだった



成果と反省点



ワークショップ内容

高瀬班

ワークショップ

内容



ワークショップ名 「花を贈るジュエリー」 高瀬先生



- ・1部50分×2部制
- ・参加人数 7名
- ・大切な家族に向けて、生花やドライフラワーを使用したジュエリー制作。

【参加者感想】

•とてもいい経験でした。
普段心の荒む仕事をしているので
とても癒されました。
ありがとうございました。

•思った以上に制作の自由度が高くて
驚きましたが、皆様のサポートの
おかげで無心で楽しめました。
ありがとうございました。



アンケート結果

【高瀬先生感想】

- 自分でやると大変なため、ワークショップをしたことはなかったが様々なセッティングして頂き助かった
- 参加者同士、作品を見せ合える時間があってもよかった



アンケート結果



松永班

ワークショップ内容

【ワークショップ名】
「タティングレースに挑戦しよう！！」

松永小百合先生



- 2部制 1部30分
- 参加人数 合計4名
- 絹糸で結び目を作っていくタティングレースという技法を学んでモチーフづくりをする



参加者のアンケート結果



【感想】

「タティングレースは難しそうで文章や絵のみで理解するのはハードルが高いため、対面で教えていただける機会があり大変楽しく過ごさせて頂きました。」


【松永先生感想】

- お客さんよりの感覚を持つ学生が間にはいることで、初めて体験される方にもわかりやすく伝えられるように気を付けることができた



アーティスト

アンケート結果



杉山班

ワークショップ

内容

ワークショップ名

「和紙の滲みどめを使った日本画ワークショップ」

杉山佳先生



- ・子どもを中心に本格的な日本画の画材を用いて、日本画に触れる機会をつくる

- ・参加人数 4名



参加者

アンケート結果

【感想】

- ・ 日本画の画材を使うのが初めてで作成の過程が分かってとても勉強になりました。
- スタッフの 学生さん、先生、ご準備が大変でいらしたことと思います。楽しい時間が送れてよかったです。



杉山先生

アンケート結果

【杉山先生感想】

•今までワークショップをやったことのない空間で初めて会う体験者さん（お客さん）に実際に日本画材を触れてもらうことで日本画や日本美術に少しでも興味を持ってもらえたらなと思います。

また学生の皆さんは実践的にワークショップを運営することで、これからアートに関わることに関して少しリアリティが出たのではないかと思います。

楽しい経験をありがとうございました。

まとめ



【成果】

- KOMOGOMO展に興味を持ってもらえた
- 体験型イベントだからこそアートを身近なものにできた
- ミニコモゴモ展参加者やSNSのフォロワーに対しては芸術の魅力を伝えることができた

まとめ



【感想】

- 周りを見て臨機応変に行動できた
- 責任感、達成感を感じた
- イベントを企画・運営するにはコミュニケーションや情報共有、連携が重要であると学んだ



ご清聴ありがとうございました。